

会 報

第 267 号

— 新支部長紹介 —

平成 27 年 6 月に群馬県支部設立（再編の上、復活）の際、支部長に就任されました、中野やよい先生に登場していただきました。



群馬県支部長
中野 やよい 先生

プロフィール

昭和 23 年 3 月 群馬県藤岡市に生まれる
昭和 41 年 3 月 群馬県立藤岡女子高等学校卒業
昭和 41 年 4 月 本田技研工業株式会社 高崎営業所入社
（7 年間勤務）
昭和 55 年 7 月 中野珠算教室開設
昭和 60 年 4 月 中野珠算教室平井教場開設
平成 19 年 4 月 藤岡市立美九里東保育園珠算講師就任
平成 23 年 2 月 全国珠算学校連盟入会
平成 27 年 6 月 公益社団法人全国珠算学校連盟群馬県支部
設立と同時に、群馬県支部長に就任、現在
に至る

< 趣 味 > 旅行、料理

< 座右の銘 > 一期一会

< 抱 負 > ～群馬県支部長就任にあたり～

群馬県支部が解散（平成 26 年 8 月）となり、復活に向け沢山の方のご支援、ご指導を仰ぎながら再編の上、支部設立（平成 27 年 6 月）が出来ましたこと、心から感謝申し上げます。

新たな気持ちを持って先生方一同で、「向上・継続は力なり」をモットーに子供たちの成長の一助となるよう、日々努力して参りたいと思っております。今後とも、ご指導を宜しくお願い致します。

新 年 の ご 挨拶

公益社団法人 全国珠算学校連盟
会 長 山 中 幸 二

新年明けましておめでとうございます。

さて、一昨年6月に会長に就任しすでに一年半が経過したわけですが、その間従来から主催してきた全日本競技大会や集合研修会、指導者研修会のほか、様々な改革や新規事業などにも取り組んで参りました。中でも最重要課題である小学校における珠算教育について近く新指導要領が採択されるのに伴い大幅な見直しが検討されている折、珠算教育の更なる強化のために小学校の2年生にも導入されるべく各方面へ働きかけを続けております。昨年10月には吉田顧問のご尽力により文部科学省を訪問し、就任間もない馳浩文部科学大臣と義家弘介副大臣に珠算教育強化の要望書を提出しております。こうした地道な活動がいずれ成果を生むものと期待されます。

そして懸案となっております暗算検定改革については支部長会などでの強い要請を受け、検定委員会等で検討を重ねて参りました。改革の目的である他団体との難易度などのギャップをある程度埋めて受験者を増やすこと、また珠算を学ぶ生徒たちの学習意欲を高めることなどを念頭に検討して来た結論として、その内容について昨年の8月の理事会に諮問し承認されております。すでに改革の内容等につきまして会報等でお知らせしているところですが、新年度の5月検定からの施行となりますので、会員の先生方のご理解とご協力をお願いする次第です。

また、初めての試みとして10月に「新世代の会2015」を開催しました。全国から28名の新進気鋭の珠算指導に携わる先生方が参加され、活発な意見交換が出来ました。少子化の進む中、厳しさを増す珠算塾の生き残りのための対策を始め、他の先生方の塾の様子やそろばん教育への取組方など具体的な意見も沢山出され、参加者にとって刺激の多い貴重な機会となりました。今回の成果を踏まえ、「新世代の会」を学校連盟の主要行事の一環として、今後も開催して参りたいと存じます。会員数が年々減少している現状の中、こうした活動を通して珠算の教育的効果についても対外的に積極的にアピールすることが、連盟の維持発展と新入会員を増やして行くための対策にもなると考えております。

本年も、従来からの主要行事の充実に向けた取組みはもちろんの事、当連盟の目的である「珠算教育の振興」を念頭に置き、公益社団法人として更なる発展を期し、会員の先生方の力強いサポート役になれるよう全力で取り組んで参りますので、諸先生方の格別なるご支援とご協力をお願いし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

第 7 回指導者研修会 「明日の珠算を考える会2015」 紙上報告

2015年10月4日（日）恒例の第7回目の珠算指導者研修会「明日の珠算を考える会2015」が、東京都文京区湯島の東京ガーデンパレスにて開催されました。北海道から九州まで全国各地から120名の珠算教育の最前線で日々奮闘されている先生方が参加。今回は、当連盟主催の全日本珠算技能競技大会を通算11回（連続8回含め）制覇して、珠算界のレジェンドになっている土屋宏明先生と土屋選手を幼少のころから見守り育ててきた“はやしそろばん総合学園”の林大治郎先生をお招きして、“私とそろばん”をテーマに第1講「土屋選手を指導して」、第2講「選手としての私」、第3講「私の算法」、第4講「東日本大震災」と題して、珠算技能の頂点を極めた苦労や心境と、優秀な生徒を育てるための指導法などについて、お二人で約4時間に渡ってお話をしていただきました。お話の中で随所に、教室の現場での具体的な指導法や優秀な生徒の育て方、珠算塾の経営の要諦などが語られ、参加された先生方からは「大変有意義で参考になる中身の濃い講演だった。」、「日々の珠算教育の取組みや教室の運営対しても貴重なヒントが得られた。」などの声を聴くことが出来ました。本講演の概要について、以下、ご報告させていただきます。

立木総務委員長の総合司会のもと、横須賀副会長の開会の言葉の後、山中会長の挨拶に続き、「明日の珠算を考える会2015」第1講がスタート。



挨拶する山中会長



挨拶する吉田顧問



熱心に聴講する先生方

モンゴルからTV局取材の為参加の
トウムルバートルさん

第1講「土屋選手を指導して」

講師 宮城県 林 大治郎 先生



プロフィール：

1940年（昭和15年）宮城県石巻市出身
小学5年生（10才）の時、顧問の先生の勧めで小学校の珠算部へ入部
6年生の時、そろばん塾に通うも3ヶ月で退塾 学校の珠算部で集中して練習
中学・高校時代も珠算部に所属 高校では応援団にも所属
高校時代 県大会、東北大会、全国珠算競技大会で入賞
商家の長男として生まれ家業を手伝うが、倒産
1969年（昭和44年）生活の為、そろばん教室を開設 25教室まで拡大
2011年（平成23年）3月の東日本大震災で壊滅的な打撃を受けるも、数カ月で8教室を再開 現在 幼児教室 提携教室含め19教室までに回復
子供3人も珠算・暗算10段を取得（全珠連、日珠連、全珠学連）
家族全員で、珠算教育に取り組んでいる

第1講では、珠算界では伝説となりつつある名選手 土屋宏明さんを育てた、林大治郎先生による講演で、土屋選手の生い立ちから始まる。

- ・土屋選手は、幼稚園年中（4才）に“はやしそろばん総合学園”に入塾。当時、すでに3人の優秀な生徒が居り、後に何人も日本一になった。その当時、土屋選手は負けず嫌いで、先輩を追いついて必死だったが、特に目立つ生徒ではなかった印象である。
- ・土屋選手に対して、特別な指導はしてこなかったが、競技大会に出る生徒と他の一般の生徒と区別せず、バランスを取りながら指導。中学への進級時にそろばんを止めてしまう生徒が多いので、そこで継続して習わせることが大事。しごくだけでは続かない。楽しませる必要があり、“はやしそろばん”では時には、焼き肉食べ放題に招待するなど日頃から、コミュニケーションを取り、また生徒間の親睦を図ったりして来ました。
- ・毎日の指導では、親しまれる先生になるよう努力、怖い先生では生徒はついて来ない。
- ・指導者にもある一定レベル以上の技能が求められる。具体的には、最低でも1級のレベルで、特に暗算技能をしっかりと身に付ける必要がある。
- ・また、珠算教室の運営については、1人で頑張っても何教室も出来ない。従って、指導した生徒を指導者に育てること、一本立ちさせて後継者を育てることが全体の底上げになると考えます。ある程度、若い人に任せることが大事だと思う。また、後継者を育て、引き継いで行くことで、珠算教育の伝統が守られ、発展することに繋がると考えます。
- ・競技大会の選手の為には、特別に日曜日などを利用して特訓をして来た。教室全体の勝ちにこだわる雰囲気を利用しながら、生徒同士の競争心を刺激して“やる気”を引き出せたことが大きく貢献している。こうした中で、土屋選手のほか日本一になる生徒を輩出できたのではないかと思います。

以上、競技大会に出場する選手の指導の仕方や先生方の教室経営など、参考にして頂ければ幸いです。

第2講「選手としての私」

講師 宮城県 土屋 宏明 先生



プロフィール：

1986年（昭和61年）宮城県石巻市出身

5歳で石巻市「はやしそろばん総合学園」入塾

小学6年生時に珠算・暗算10段合格

全国珠算学校珠算競技大会（現 全日本珠算技能競技大会）

個人総合11回優勝

日本珠算連盟主催「珠算名人位決定戦」8期連続名人位獲得

全国珠算教育連盟主催「全日本珠算選手権大会」日本一7回獲得

2009年（平成21年）東北大学経済学部卒、七十七銀行入行

2014年（平成26年）3月七十七銀行退職、4月仙台市に「土屋そろばん教室」開塾、現在100名余の生徒が在籍

第2講では、学校連盟の全日本珠算技能競技大会で11回の日本一（個人総合優勝）獲得の他、日珠連名人位8期連続獲得、全珠連の全日本選手権大会で7回優勝するなど、珠算界では、レジェンドに成りつつある土屋宏明先生が登場、自己紹介からスタートした。

・そろばんを習い始めたのは、友達が沢山出来る様にとの両親の勧めで年中（5才）から。小6で珠算10段に合格した。

・小1の頃から、石巻の競技大会に出場を始める。石巻の在籍する塾では3番目の成績で、全国16位でした。優秀な先輩たちが沢山いて、一緒に日曜日特別授業を受け始め、目に見えて上達した。翌年の小2で全国大会小学生の部で優勝。その後小3・小4時代は、少し遊んだためややスランプ気味。

・1997年から始まった日珠連のグランプリジャパンの大会に小5で出場したが、2位に終わった。1位に圧倒的な差を付けられて負けたことが悔しくて、それから毎日練習に没頭。1998年はまた2位、1999年には中1で出場するもまたしても2位で、ショックの余り号泣したことを覚えています。

・その時のそろばん塾の先生から掛けられた言葉「一緒に頑張ろう」に勇気付けられ奮起。

・2000年の中2の時の大会で初めて1位優勝、同時に同じ年の名人戦で第13代名人位獲得。当時は、まだしっかりした自信は無く、「まぐれ」だと思った。それからが本当の自分との戦いが始まった様に感じました。「勝たなければ」のプレッシャーに押し潰されそうになり、生活にも負荷が掛かって、そろばんを楽しむことが出来なくなっていました。

・そうした中、東北大学を卒業して、銀行マンとして社会人生活が始まり、様々な経験を積むことが出来ました。特に融資係での経営者の方々とお付き合いでは、苦労話や体験談など貴重なお話を聞く機会がありました。こうした経験から心の余裕が生まれ、そろばんにも楽しんで取り組むことが出来る様になりました。

・社会人生活が続く中、七十七銀行女川支店勤務から仙台の本店勤務に異動したのが2011年3月9日で、その直後の3月11日に東日本大震災が発生し、女川支店時代の同僚12名が津波の犠牲になり、大変なショックを受け、今も辛い思い出として、心に残っています。

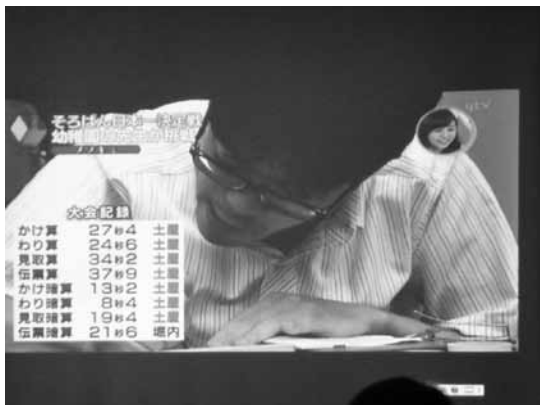
・震災後は、全国のそろばん関係者やそろばんの競技仲間から食料や衣料の他、そろばんまで送って頂き、大いに励まされました。それからは「挑戦」と「感謝」を座右の銘として日々頑張っているところです。

・全日本大会などに出場する一選手としての心構えは「肩の力を抜いて、練習通りに挑む」ことを肝に命じています。また、漫画本なども参考にして、肩の力を抜くリラックスする方法として「1分間深呼吸」など自分なりに工夫している。

・社会人時代は練習時間が確保出来ず辛いこともあったが、逆に精神的には成長できた様に思います。そろばん塾を開設後は、朝練を習慣付けたことが効果的で、短い練習時間で大いに力を伸ばすことが出来たと実感しています。

・終わりに、50才まで現役を続けて来たプロ野球選手の山本（昌）投手の引退の記者会見での印象に残った「技術的には今が最高」と言う言葉をご紹介します。自分に置き換えて、日々山本（昌）選手のような心構えで練習をしていたか反省しているところです。また、ウォルトディズニーの言葉「現状維持では後退するばかり」も肝に命じて、日頃から頑張っている今日この頃です。

以上、様々な経験に裏打ちされた、土屋宏明先生のそろばん名人としての選手生活をくまなく紹介して頂きました。土屋先生を目指して頑張っている生徒への指針として参考になるものと期待されます。



TV 放映された土屋選手競技中の映像



熱心にメモを取る参加者



熱く語る土屋先生



参加の役員の方々

第3講「私の算法」 講師 宮城県 土屋 宏明 先生

第3講では、全日本の珠算技能大会で数々の戦績を誇る選手としての土屋先生の具体的なそろばん技能向上の為の方法や、土屋先生が仙台市内にそろばん塾を開いてからの取り組みなどを紹介して頂きました。

- ・小4頃から、左手を使ってそろばんを練習するようになった。飽くまでも右手の補助として、左手の人差し指で間違いを修正するなどの訓練をして来た。こうした技で、速度をある程度上げることが出来る。
- ・かけ暗算は小5から初めた。桁巾のイメージ（イメージする実際の巾）を広げないことが大切。また、同じ問題を使わない練習を心がけた。無理な桁上げはスピードが遅くなるので、少ない桁数でスピードを速くする訓練が大切。
- ・読上げ暗算競技では群馬県藤岡市の大会から出場。自分の中で、ごまかして計算。9桁以上は、別のものに置きかえたり、数字を一旦忘れる方法など頭の中にイメージしながら訓練した。つまり、8桁までは完ぺきにしておき、それ以上はイメージとして頭の隅において計算。同じ問題を何回も解く訓練なども有効だった。
- ・競技大会では、書き方も工夫、スピードを重視して早く書く練習もした。
- ・生徒指導では、子供の間競争意識を上手く利用することも大事。はやしそろばん教室での指導を手伝ったことが、大変参考になり、今の指導に活かしている。
- ・社会に出て、もまれて経験を積んできたことが良かった。選手としての活動だけでなく、そろばん教室を開いてから、参考にすることがより多かったように思います。銀行の融資係として会社経営者の方々とのお付き合いや、コミュニケーションの経験に助けられている点が多々あります。
- ・5年間の社会人生活を経て、2014年3月退職して、そろばん教室を開く時は、家族から反対されたが、父親は賛成してくれました。期待と同時に不安も大きかったが、今は大変充実した生活を送っている。これまで選手として頑張ってきたことも含めて自分の力を信じて、今後もやっていきたいと思っています。
- ・生徒にとって、「楽しいと思える教室作り」を心がけながら、珠算教育発展の為に、貢献して行けたらと思っています。

土屋宏明先生のそろばん名人としての足跡をたどり、珠算教育の奥深さと同時に人間教育に繋がる、そろばん学習の教育的効果や価値など、会員の先生方にとっても多くの気があったのではと思います。



熱心に聴講する参加者



研修会の様子

第4講「東日本大震災について」

講師 林 大治郎先生／土屋 宏明 先生

第4講では、先に何回も触れた2011年3月の東日本大震災での生々しい体験などが話されました。

・土屋先生のお話では、仙台市内の七十七銀行本店がたまたま自家発電で、電気がついていて、夜間でも明るかった為、多くの人が避難して来たとのこと。そして、本店に備えてあった万一の為の非常食を被災者に配ったりした。また、震災翌日の3月12日には、被災者がお金を、おろすために窓口へ殺到して来ました。こうした被災者の方々へは、社の方針として印鑑や通帳がなくとも信用貸しが許可され、すべての人達に現金が渡されました。震災直後の異常事態の中、少しはお役に立てたのではと思っています。ただ、女川支店の同僚が亡くなっていたのがとても辛かったのを覚えています。

・一方林先生のお話では、当日所有する車の殆ど（8台程）が津波に流されて、運営していた25教室も壊滅状態で、しばらくは途方に暮れる毎日だったとのこと。そんな大惨事の最中、珠算の仲間や関係者の方々から数々の援助が届き、とても励まされました。中でも、教室へ通っていた子供達から「いつそろばん教室はじまるの？」との問いかけがたびたびあって、何が何でも再開しなくてはとの必死の思いで、震災から5ヶ月から8ヶ月後には8教室を再開することが出来ました。今では、幼児教室や提携教室を含め19教室まで復活させることができ、これもひとえに関係者の皆様方のお力添えがあったお蔭で、大変感謝しています。これからも、こうした支援への感謝を込めて、恩返しのつもりで珠算教育に精進して行きたい、と思っています。

奇しくも、今回お招きした講師は、お二人とも未曾有の大震災に遭遇しながら、這い上がってきた共通の経験をお持ちで、講演の内容も大変力強いものでした。参加された先生方の心に深く響くと同時に、そろばん教室での指導に対して示唆に富む内容だったと、思われます。

最後に、講演の資料として配布された林大治郎先生の「私なりの選手指導と授業内容」と題したキーワードのリストと「教室での心構え（笑顔を大切に）」を掲載しますので、是非参考にして頂きたいと存じます。



優しく語りかける林先生



参加の先生方と記念写真

私なりの選手指導・授業内容

- ・授業の雰囲気作り：時間の計り方、暗算（イメージ算）の必要性を重視する、
- ・慣れた問題ばかり使用してはいけない
- ・注意の仕方（学年によって）
- ・読上暗算、読上算の読み方と導入の仕方
- ・静かな授業
- ・授業の時の座席の決め方
- ・選手層を厚くするように
- ・出来るだけ高学年まで続ける指導と教育
- ・級を進級させてから試験を受けさせる（退塾防止）
- ・この子が良いと思うときは、親にも話をする
- ・生徒の欠点を見つけ、それを補う
- ・試合には数多く参加させた方がよい
- ・指導者自身が臆病にならない
- ・私たちはどうすべきか
- ・伝票算について
- ・私たちが頑張っても親(家庭)によって

笑顔のこころ 10 か条

（先生方の参考になれば幸いです）

- 「はい」「すみません」を素直にいえる笑顔の心
- 「はい、努力します」と前向きに言える笑顔の心
- 「お願いします」と信じて言える笑顔の心
- 「一歩、一歩」と励ましあえる笑顔の心
- 「心をこめて」と謙虚に言える笑顔の心
- 「あなたのおかげです」と感謝のできる笑顔の心
- 「よかったですね」と微笑みあえる笑顔の心
- 「会えてよかった」と感動できる笑顔の心
- 「頑張りましょう」と明るく言える笑顔の心
- 「ありがとうございます」と常に言える笑顔の心

（^ー^）笑顔のこころ

はやしそろばん総合学園 林 大治郎

平成27年10月4日(日)第7回指導者研修会「明日の珠算を考える会2015」参加者名簿

No.	支部名	氏名	No.	支部名	氏名	No.	支部名	氏名
1	(宮城県)	土屋 宏明	41	茨城県	小泉 淳子	81	埼玉県	中島 美智子
2	(宮城県)	林 大治郎	42		鈴木 広子	82		宇津木 ミツ
3	北海道	吉田 松雄	43		川崎 和江	83	神奈川県	竹 中 翠
4		山中 博詞	44		澤田 舞美	84		高山 和子
5		小林 有悟	45		桜井 ミチエ	85		秋 田 幸
6		大畑 有加	46		柏崎 多美子	86		佐々木 幸子
7	秋田県	半田 美代子	47		林 豊子	87		九石 悦子
8		横尾 愛子	48		武井 ふじ子	88	静岡県	沢野 基司
9		後藤 ますみ	49		鈴木 勝恵	89		渡邊 真一
10	岩手県	及 川 實	50		箱崎 喜代子	90		野元 輝子
11		及 川 幸子	51		山中 敬子	91		本山 和子
12		佐々木 良子	52		間中 良子	92		高須 たつ子
13		谷地 畝達也	53		並木 幸子	93		高須 由佳
14	宮城県	林 龍 司	54		小林 順子	94	愛知県	大 滝 徹
15	福島県	三 富 邦基	55		舘野 明美	95		鈴木 直人
16		三 富 俊彦	56		山中 俊明	96		村田 康代
17		遠藤 イエ子	57		山 中 猛	97		山本 千恵子
18	栃木県	横須賀 長次	58		小澤 恵子	98		近藤 仁美
19		横須賀 正典	59		木村 梨都	99		水野 孝司
20		細野 美貴	60		井上 節子	100		鈴木 あさ子
21		横須賀 富貴子	61	群馬県	中野 やよい	101	岐阜県	立 木 博
22		西川 俊治	62		高津 孝子	102		立 木 明
23		見目 光治	63		平田 あけ美	103		中谷 公継
24		塩生 良江	64		森下 富士美	104	福井県	藤井 重昭
25		熊坂 千代子	65	新潟県	杵 鞭 博昭	105		戸田川 由香里
26		倉重 よし子	66		田村 久子	106	石川県	木谷 建一
27		安納 幸子	67		中沢 秀一	107		木谷 泰子
28		赤羽根 奈緒	68		小 黒 元	108		木谷 哲也
29		鈴木 浩代	69		峰川 ともみ	109		渋谷 慶一
30	千葉県	鈴木 啓一	70	長野県	臼田 直子	110	奈良県	國見 仁子
31		中島 えいこ	71	東京都	大山 勝治	111	大阪府	岡田 良章
32		椿 静子	72		村上 良子	112		梅原 恵子
33		池田 彰子	73		渡邊 攝宣	113	兵庫県	蓮井 慶太郎
34		鈴木 幸枝	74		片貝 とみ子	114		木谷 晋也
35		和田 紀子	75		寺澤 悦子	115		久保田 訓大
36		鈴木 武子	76		飯山 晶子	116	香川県	上杉 遊子
37		早川 典秀	77	埼玉県	菊 池 和	117	広島県	徳永 博旦
38	茨城県	山中 幸二	78		野原 命子	118		鈴木 章恵
39		飯塚 美智子	79		佐藤 ミエ	119	福岡県	松元 洋平
40		竹内 かほる	80		渋谷 節子	120	本 部	木股 光雄

(敬称略)

第 1 回「新世代の会 2015」紙上報告



冒頭で挨拶する山中会長



新世代の会の様子

2015年10月4日（日）指導者研修会に先立って、初めて開催された「新世代の会 2015」。全国から新進気鋭の珠算教育に携わる先生方28名が参加され、本会の趣旨に沿って、活発な意見交換が行われました。開催の趣旨と併せ会議の中での意見交換の内容や提案などについて、以下ご報告いたします。

「新世代の会」開催の趣旨（目的）

これからの珠算教育のあり方や学校連盟の役割などのほか、当連盟が主催する様々な行事、検定試験に関する課題等について自由に意見交換。意見交換を通して出されたアイデア、問題提起等を学校連盟の理事会等に諮問し、具体化を検討して今後の連盟の事業活動に活かす。（参加資格：50才代までの会員）

立木総務委員長の総合司会で横須賀副会長の開会のことば、山中会長の挨拶の後、参加者の自己紹介からスタート。

1. 暗算検定の改革について：

- ・最初に、意見交換をし易くする狙いもあって、8月の理事会で報告・承認された暗算検定の改革内容について、役員から詳しい報告がなされました。
- ・暗算段位検定について1級に受かっていないと段位検定は受験できないかとの質問あり。これに対しては、1級取得していなくても段位受験はOK。ただし、1級が合格してから段位検定の受験を勧めるのが望ましいとのコメントが付けられた。

2. 競技大会について：

- ・平成27年度の大会でもあった様に、個人総合で4人の満点が出ている。「毎年多くの満点が出るのはいかななものか。出題について難易度を高くするなどの対策が必要ではないか。」との意見。ある程度高得点が出るのは、競技大会を盛り上げる意味もあるとの競技委員長からのコメントがあった。今後、対策が必要かなど、課題として検討する。
- ・競技大会の結果をホームページに早く掲載して欲しいとの意見、事務局で対応する。
- ・今年度の大会は会場を変えた関係もあり、余裕がなかった印象があった。前の日に準備が出来ると良い、服装は軽装でも良いのではなどの意見が出された。今後はクールビズの軽装でOKとしたい。前日の会場準備は貸会場の関係で費用が大幅にかさむので、難しい。
- ・団体総合の順位の付け方を明確にして欲しい。来年度は、事前に明確しておく。
- ・参加者数の割り当てについて、多すぎる県がある印象を持ったとの意見。検定受験者数など連盟への貢献度に応じて公平に割り当てていることなど、理解して欲しいとのコメント。

3. 算数検定について：

- 皆さんの教場でもどんどん取り入れて欲しい。27年度10月検定から教科書出版大手の啓林館書店に作問をお願いしている。学校現場や父兄へのアピールになる。

4. 珠算教育について現状と対策など：

- 珠算を通して、子供達や父兄へ何を伝えるかなどの視点が必要。珠算と算数を繋げていく指導が求められていると思う。「心を育てる」指導が父兄からも評価されるのでは。
- 生き残るための対策として検定内容の検討や、国外への展開、大人への珠算指導など対象を広げる戦略が必要だと思う。いずれにしても、「そろばんを習って良かった」と思う子供たちを増やしていきたいとの積極的な意見が多く出された。また、珠算と幼児教育をリンクさせる取り組みが生き残りの切り札ではとのコメントあり。

5. 学校連盟への新入会について：

- 学校連盟に入っていない未入会の人のコメントで「堅苦しい」印象があるとのこと。ホームページを通じた情報の公開や、会員相互の情報交換など開かれた組織にすることが求められている。また、公益法人として新しく入会したい人には特別な理由がない限り門戸を開く必要があることなど会員の理解が求められる。

6. 「新世代の会2015」に参加しての感想や今後の会への要望などについて：

- 今回の参加者の様に、役員との交流があまりない人達にとって、意見を直接役員へ伝える機会を設けてもらって、嬉しい。今までこうした機会はなかった。
- 気軽に意見交換出来るようにして欲しい。
- 出来ない子の指導方法、引っ張り方などを研修で取り上げて欲しい。
- 小学生を募集する対策について聞きたい。小学校児童で荒れる子が多い、費用はかかるがサブの先生を付けて指導している教室もあるとの発言があった。
- 自発的な勉強会が出来ると良い、そうした会なら今後も是非参加したい。
- 事前にアンケートなどで議題を集めて進めてみては。参加する前に準備ができる。
- 塾などの様子について、もっと意見交換がしたい。
- 子供たちへは、「あきらめないこと」、「結果は後からついて来る」ことなど教えたい。
- 少子化の影響が急激で、生き残れるか不安がある。多角化、多店舗化などの対策についてアドバイスが欲しい。具体例を基に、ケーススタディをするのも良いのではとの意見。
- いくつかのテーマを出して、分科会を開くのも良いのでは。



活発に発言する参加者



活発に発言する参加者

7. 終わりに、山中会長から役員を代表して今回の新世代の会の印象や、今後の会議の方針について、コメントがあった。

- 本日のこの会は初めての試みでやや戸惑いもありましたが、大変活発で前向きな意見交換が出来て嬉しく思います。
- 新世代の会のリーダーを決めて今後の会のあり方、進め方など検討していただきたいと思います。また、来年は指導者研修会の前の日の午後から開いて、当日は宿泊して十分な時間をかけて意見交換や課題に対して議論して頂きたいと考えています。
- 新世代の会の責任者として、本日参加されている、本部役員でもある新潟県支部長の杵鞭博昭先生を指名。杵鞭先生も趣旨に賛同し、リーダー就任を承諾された。

以上、初めての試みである「新世代の会2015」の意見交換等の内容をご報告いたします。今後の進め方などリーダーの杵鞭先生を中心に、常任理事会等で検討し、来年度の主要行事の一環として、改めて会員の先生方へ詳細をご連絡したいと存じます。

平成27年度第1回「新世代の会2015」参加者名簿

No.	支 部 名	氏 名	会員・外	備考
1	北 海 道	小 林 有 悟	会員	
2	"	大 畑 有 加	会員	
3	福 島 県	三 富 俊 彦	会員	
4	栃 木 県	横 須 賀 正 典	会員	
5	"	見 目 光 治	会員	
6	"	細 野 美 貴	会員	
7	宮 城 県	林 龍 司	会員	
8	"	土 屋 宏 明	会員	
9	群 馬 県	森 下 富 士 美	会員	
10	新 潟 県	小 黒 元	会員	
11	"	峰 川 と も み	会員	
12	"	杵 鞭 博 昭	会員	(理事・支部長)
13	茨 城 県	小 澤 恵 子	会員	
14	"	木 村 梨 都	会員	
15	"	山 中 俊 明	会員	
16	"	山 中 猛	会員	
17	千 葉 県	池 田 彰 子	会員	
18	"	中 島 え い こ	会員	
19	埼 玉 県	新 井 勉	会員	(支部長)
20	長 野 県	臼 田 直 子	会員	
21	静 岡 県	渡 邊 真 一	会員	
22	岐 阜 県	立 木 明	会員	
23	"	中 谷 公 継	会員	
24	石 川 県	木 谷 哲 也	会員	
25	"	洪 谷 慶 一	会員	
26	奈 良 県	國 見 仁 子	会員	
27	兵 庫 県	木 谷 晋 也	会員	
28	福 岡 県	松 元 洋 平	会員	
	本部役員			
29	会 長	山 中 幸 二	(代表理事)	※オブザーバー
30	副 会 長	横 須 賀 長 次	(代表理事)	※オブザーバー
31		林 大 治 郎	(代表理事)	※オブザーバー
32		木 谷 建 一	(代表理事)	※オブザーバー
33	常 任 理 事	立 木 博	(総務委員長)	※総合司会・オブザーバー
34		三 富 邦 基	(財務委員長)	※オブザーバー
35		岡 田 良 章	(学校経営対策委員長)	※オブザーバー
36		大 滝 徹	(検定委員長)	※オブザーバー
37	広 報 記 録 係	徳 永 博 旦	(広島県支部長)	※記録係
38	事 務 局	木 股 光 雄	(本部事務局長)	
	合 計 人 数	38 名		

(敬称略)

平成 27 年度 第 2 回全国珠算教育団体連合会代表者会議の報告

平成 27 年 11 月 8 日（日）、東京駅前 丸ビル（8F Room 1）に於いて、今年度第 2 回目の代表者会議が開催されましたので、当連盟の活動に関連する部分の内容について以下ご報告します。



代表者会議出席者



挨拶する山中会長

出席者

- （公社）全国珠算教育連盟：梶川眞秀理事長、平上一孝副理事長、岡久泰大副理事長、
谷賢治専門委員会委員長、小原光治専門委員、高橋房雄局長、佐藤郁男調整室長、
安達由美子事務局員
- （公社）全国珠算学校連盟：山中幸二会長、横須賀長次副会長、林大治郎副会長、
中島えいこ専門委員、木股光雄事務局長
- （一社）日本珠算連盟：森田悦男理事長、上川祐司副理事長、大貝敏次連合委員長、
小倉義明専門委員、會本尚専務理事

1. 平成27年度事業について

ア. 「小学校のそろばん学習 vol.4」について

- ・ 谷委員長より報告。H27.9月発行、3団体事務局へ発送。団体事務局より会員へ発送手配。
- ・ 発行部数は前年と同様、各団体からの必要部数に基づき発送。（計17,000部）
現在1,000部保管。今後、ボランティア授業出講等で活用していただく。

イ. 小学校第2学年でのそろばん授業についてデータ収集について

- ・ 谷委員長より報告。

◎小学校算数科第2学年「そろばん」指導案の原案作成提示

◎「たのしいそろばん（第2学年用）」原案の提示

11/14までに、校正等をまとめ、11月中に関係者へ資料等配布する。

本事業への今後の対応について進める。

2. 連合会運転資金について

- ・ 「たのしいそろばん」の手配の際、代金の回収前に印刷会社への支払いが発生し、一時的に資金が不足することがある。対策として、繰越金を増やすこととし、その為に次年度の各団体の分担金を増額することとなった。

3. 平成27年度「たのしいそろばん」の利用状況について
 - ・平成27年10月31日現在 児童用341,812冊、教師用18,592冊を配布した。
どちらも前年比一割程度減少。申込一覧表と参考資料により、今後の対応検討。
4. 教科書会社担当者との懇談会について：

この活動は大切であり、今後も継続する。平成27年1月開催予定。三省堂問題が世間では注目されているが、当連合会の活動とは違うので、今後も継続する。
5. 平成28年度の活動方針について
 - ア.「世界珠算暗算競技大会」（於：中国北京）への今後の対応について

平成28年度大会は参加の方向で検討する。派遣選手は各団体から1名、選手の費用も各団体が負担。（@30万円程度）引率役員に関しては1名とし、費用は連合会で対応する。（約30万円程度）
 - イ. 次期指導要領改訂に向け、連合として全力で取り組む

第2学年そろばん授業指導案・生徒用テキスト原案の提示。（担当委員より説明）
第2学年の実験授業の計画、結果データの作成を進める。（専門委員会に委嘱）
文部科学省への活動も今後検討する。
6. 平成27年度活動報告について

連合の活動報告の後、各団体の活動報告。主な連合会の活動は次の通り。

(27年度)

4月3日	小学校におけるボランティア授業実施校数調査依頼
4月8日	専門委員会（東京）
5月10日	第1回代表者会議（東京）
5月17日	下村博文文部科学大臣表敬訪問（各団体代表者 計5名参加）
6月～	小学校副教材「たのしいそろばん」に関する業務など
3日	専門委員会（東京）（中島委員出席）
24日	“ “
9月	「小学校のそろばん学習」vol.4 発行
2日	専門委員会（東京）（中島委員出席）
10月7日	“ “
13日	第3次安部改造内閣入閣祝電発信（文部科学副大臣義家先生）
11月8日	第2回代表者会議（東京）

7. 珠算教育連合会ホームページ立ち上げについて

日珠連 上川副理事長より原案が提案され、これを基に、各団体より専門委員を出してもらい制作を進める。平成28年4月の立ち上げを目指す。

☆HP作成専門委員：上川祐司（日珠連）、岡久泰大（全珠連）、中島えいこ（全珠学連）
8. その他（諸報告など）
 - ア. 「珠算に関する講座」出講について
 - ・東京 武蔵野大学より講師の依頼あり。連合会として対応。
実施日：平成27年12月2日（水）、講師：小原光治専門委員を派遣。
そろばん150丁の依頼あり、珠算連合保有の100丁、不足分50丁は日珠連が提供。
 - イ. 諸報告：各団体役員改選に伴い、新役員の紹介等。
 - ウ. 次回代表者会議の日程について

平成28年5月8日（日）13時より監査会、14時より代表者会議開催を予定。

平成27年度「たのしいそろばん」申込一覧表

平成27年10月31日現在

都道府県	児童用			教師用		
	平成27年度	平成26年度10月末	増 減	平成27年度	平成26年度10月末	増 減
北海道	16,230	20,220	△ 3,990	1,010	1,012	△ 2
青森			0			0
岩手			0			0
宮城			0			0
秋田			0			0
山形	1,400	1,000	400	30	100	△ 70
福島	2		2	2		2
新潟		1,030	△ 1,030		63	△ 63
茨城	2,100	2,000	100	100	120	△ 20
栃木			0			0
群馬	17,500	19,000	△ 1,500	800	800	0
埼玉			0			0
千葉	7,230	6,870	360	190	180	10
東京都	103,500	100,000	3,500	7,100	6,500	600
神奈川県			0			0
富山	2,590	2,610	△ 20	10	10	0
石川	11,500	11,300	200	840	730	110
福井	4,300	4,000	300	220	600	△ 380
山梨			0			0
長野			0			0
岐阜	5,000	15,900	△ 10,900	230	880	△ 650
静岡	18,260	21,091	△ 2,831	920	1,026	△ 106
愛知	38,000	38,000	0	1,250	1,500	△ 250
三重	9,000	11,500	△ 2,500	425	920	△ 495
滋賀			0			0
京都	7,000	8,000	△ 1,000	700	700	0
大阪	35,000	36,000	△ 1,000	2,100	2,700	△ 600
兵庫	8,230	6,540	1,690			0
奈良			0			0
和歌山			0			0
鳥取	1,000		1,000	30		30
島根	2,260		2,260	100		100
岡山	4,200		4,200	250		250
広島	15,000	17,600	△ 2,600	900	900	0
山口			0			0
徳島			0			0
香川			0			0
愛媛	7,250	8,770	△ 1,520	445	500	△ 55
高知			0			0
福岡			0			0
佐賀	550	1,000	△ 450	30	100	△ 70
長崎	4,500	4,000	500	300	200	100
熊本			0			0
大分	3,700	3,800	△ 100	100		100
宮崎			0			0
鹿児島	8,000	9,000	△ 1,000		1,000	△ 1,000
沖縄	8,000	8,000	0	300	300	0
全珠学連	10		10	10		10
日珠連	500	500	0	200	200	0
全珠連			0			0
合 計	341,812	357,731	△ 15,919	18,592	21,041	△ 2,449

平成 27 年度中間決算（監査）の報告

平成 27 年 11 月 21 日（土）に本部事務局におきまして 27 年度中間決算監査が行われましたので、上半期の財務状況（貸借対照表、正味財産増減計算書など）について、以下ご報告いたします。

法 人 名：公益社団法人 全国珠算学校連盟

貸借対照表

平成 27 年 9 月 30 日 現在

科 目	当 年 度	前 年 度
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	82,315,721	90,496,852
流動資産合計	82,315,721	90,496,852
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
土地	54,716,920	54,716,920
基本金	3,000,000	3,000,000
基本財産合計	57,716,920	57,716,920
(2) 特定資産		
慶弔引当資産	2,738,000	2,738,000
生徒安全会基金	15,971,956	15,971,956
珠算振興事業基金	17,350,846	4,108,555
特定資産合計	36,060,802	22,818,511
(3) その他固定資産		
建物	21,985,450	16,571,450
什器備品	453,244	115,293
その他固定資産合計	22,438,694	16,686,743
固定資産合計	116,216,416	97,222,174
資産合計	198,532,137	187,719,026
II 負債の部		
1. 流動負債		
預り金	56,540	31,170
仮受金	142,165	7,217
流動負債合計	198,705	38,387
2. 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計	198,705	38,387
III 正味財産の部		
1. 指定正味財産		
2. 一般正味財産	198,333,432	187,680,639
（うち基本財産への充当額）	(57,716,920)	(57,716,920)
（うち特定資産への充当額）	(36,060,802)	(22,818,511)
正味財産合計	198,333,432	187,680,639
負債及び正味財産合計	198,532,137	187,719,026

法人名：公益社団法人 全国珠算学校連盟

正味財産増減計算書

平成 27年 4月 1日 から平成 27年 9月 30日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	9,519	4,500	5,019
受取入会金			
受取入会金	85,000	70,000	15,000
受取会費			
会員受取会費	7,020,000	6,970,000	50,000
事業収益			
生徒安全会収入	31,500	29,000	2,500
検定収入	65,864,900	68,897,000	△ 3,032,100
教育認定収入	10,000	52,500	△ 42,500
事業収益計	65,906,400	68,978,500	△ 3,072,100
受取負担金			
受取負担金	2,067,000	2,093,000	△ 26,000
雑収益			
受取利息	1,147	6,222	△ 5,075
雑収益	403,464	3,432,340	△ 3,028,876
雑収益計	404,611	3,438,562	△ 3,033,951
経常収益計	75,492,530	81,554,562	△ 6,062,032
(2) 経常費用			
事業費			
(事) 給料手当	4,366,288	4,112,577	253,711
(事) 役員報酬	1,632,000	620,000	1,012,000
(事) 福利厚生費	1,296,518	1,153,077	143,441
(事) 旅費交通費	3,053,818	1,373,031	1,680,787
(事) 通信運搬費	917,171	832,816	84,355
(事) 消耗品費	1,033,534	937,666	95,868
(事) 印刷製本費	5,850,763	4,568,299	1,282,464
(事) 光熱水料費	374,659	369,220	5,439
(事) 賃借料	2,290,294	3,479,646	△ 1,189,352
(事) 諸謝金	300,000	360,000	△ 60,000
(事) 租税公課	1,671,752	792,632	879,120
(事) 支払負担金	900,000	800,000	100,000
(事) 委託費	93,960	89,298	4,662
(事) 作問関係費	819,020	1,169,480	△ 350,460
(事) 会議費	270,718	419,949	△ 149,231
(事) 旅費	5,152,696	4,904,637	248,059
(事) 支払給付金	0	41,000	△ 41,000
(事) 建物管理費	258,741	350,649	△ 91,908
(事) 会場費等	36,562,490	38,713,170	△ 2,150,680
(事) 雑費	1,652,778	1,690,155	△ 37,377
事業費計	68,497,200	66,777,302	1,719,898
管理費			
(管) 役員報酬	450,000	552,000	△ 102,000
(管) 給料手当	405,612	380,423	25,189
(管) 福利厚生費	87,177	80,520	6,657
(管) 会議費	1,135,743	1,207,992	△ 72,249
(管) 旅費交通費	74,588	74,249	339
(管) 通信運搬費	48,705	34,230	14,475
(管) 消耗品費	11,922	11,035	887
(管) 印刷製本費	280,636	561,401	△ 280,765
(管) 光熱水料費	30,378	29,937	441
(管) 賃借料	110,160	110,160	0
(管) 諸謝金	136,000	85,000	51,000
(管) 租税公課	135,548	64,268	71,280
(管) 旅費	417,786	397,673	20,113
(管) 渉外費	336,200	170,000	166,200
(管) 建物管理費	20,979	28,431	△ 7,452
(管) 雑費	89,123	100,041	△ 10,918
管理費計	3,770,557	3,887,360	△ 116,803
経常費用計	72,267,757	70,664,662	1,603,095
評価損益等調整前当期経常増減額	3,224,773	10,889,900	△ 7,665,127
当期経常増減額	3,224,773	10,889,900	△ 7,665,127
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	3,224,773	10,889,900	△ 7,665,127
当期一般正味財産増減額	3,224,773	10,889,900	△ 7,665,127
一般正味財産期首残高	195,108,659	176,790,739	18,317,920
一般正味財産期末残高	198,333,432	187,680,639	10,652,793
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	198,333,432	187,680,639	10,652,793

法 人 名 : 公益社団法人 全国珠算学校連盟

財 産 目 録

(平成27年 9月30日現在)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
(現金預金)			
現金手許残高	156,357		
普通預金			
りそな銀行 今池支店	147,658		
中京銀行 今池支店	9,258		
三井信託銀行 名古屋営業部(一般)	391,560		
三井信託銀行 名古屋営業部(安全会基金)	1,140,652		
ゆうちょ銀行	4,140,988		
三菱東京UFJ銀行 今池支店	4,480,216		
定期預金			
りそな銀行 今池支店	7,000,000		
中京銀行 今池支店	7,262,000		
三井信託銀行 名古屋営業部016-003	919,489		
三井信託銀行 名古屋営業部032	4,757,709		
郵便振替口座	51,909,834		
未収金 検定料等	0		
立替金	0		
流動資産合計		82,315,721	
2. 固 定 資 産			
(1) 基本財産			
土 地 201.36平米	54,716,920		
基 本 金(りそな銀行 今池支店)	3,000,000		
基本財産合計	57,716,920		
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	0		
慶弔引当資産 (定期預金)			
中京銀行 今池支店	2,738,000		
生徒安全会基金 (定期預金)			
三井信託銀行 名古屋営業部016-003	15,971,956		
珠算振興事業基金 (定期預金)			
三井信託銀行 名古屋営業部032	17,350,846		
特定資産合計	36,060,802		
(3) その他固定資産			
建物 本部建物 409.47平米	21,985,450		
什器備品 パソコン等	453,244		
その他固定資産合計	22,438,694		
固定資産合計		116,216,416	
資産合計			198,532,137
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
預 り 金 源泉預り金	56,540		
仮 受 金	142,165		
流動負債合計	198,705		
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金	0		
固定負債合計	0	198,705	
負債合計			198,705
正味財産	198,333,432		198,333,432

モンゴル便り

モンゴル・ウランバートルで10月に開催された第6回「そろばんオリンピック」に招かれたの、熱戦などその様子を以下ご報告いたします。

(会長 山中 幸二)

第6回モンゴル国 算盤オリンピック 2015年10月25日(日)



算盤オリンピック 競技大会風景



競技大会賞状



個人総合 優勝者の表彰



競技大会役員の先生達



同点決勝の様子

大阪府支部便り

◆第40回全大阪ベスト選抜大会珠算競技大会

◆2015年11月8日(日)実施 於：全国珠算学校連盟大阪府支部事務所

第40回

**全大阪ベスト選抜
珠算競技大会**

成績一覧表

2015年11月8日(日)実施
会場：全国珠算学校連盟大阪府支部事務所

**全国珠算学校連盟
大阪府支部**

2015年11月8日(日)開催

**第40回 団体総合競技
全大阪ベスト選抜珠算競技大会**

会場：大阪府支部事務所

順位	教室名	得点	高卓選手名	ふりがな	得点
優勝	東洋珠算豊里学院	2,200	植松 颯太	うゑまつ そうた	770
			長谷川 夏瑚	はせがわ かに	740
			岩下 龍晟	いわした りゅうせい	690
準優勝	東洋三国学院	2,150	田中 美羽	たなか みほ	745
			鈴木 希和	すずき きわ	715
			平瀬 奈緒	ひらせ なお	690
第2位	東洋珠算学校	1,905	棚原 恋々	たなはら ここ	670
	田野珠算学校	1,885	山本 明侑	やまもと みう	670
	長居珠算学校	1,820	嶋崎 真央	しまさき まお	655
第3位	井宮基礎スクール	1,775	佐藤 梨帆	さとう りほ	705
	黒沢珠算教場	1,770	坂本 晃生	さかもと こうせい	595
	川上そろばん教室	1,665	松本 洋平	まつもと ようへい	595
	東洋東三国学院	1,595	松江 有紗	まつえ ありさ	610
	千里山そろばん教室	1,485	森尾 悠央	もりお ゆう	555
	あさひそろばん	1,020	南出有紀乃	みなみで ゆきの	385

2015年11月8日(日)開催

**種目別競技
全大阪ベスト選抜珠算競技大会**

会場：大阪府支部事務所

順位	選手番号	選手名	ふりがな	学年	教室名
優勝	103	松田 さくら	まつだ さくら	中2	東洋珠算豊里学院
準優勝	102	長谷川 夏瑚	はせがわ かに	高2	東洋珠算豊里学院
2位	104	植松 颯太	うゑまつ そうた	中1	東洋珠算豊里学院
	157	棚原 恋々	たなはら ここ	小6	東洋珠算学校
	101	竹内 瑛音	たけうち えいお	大2	東洋珠算豊里学院
3位	160	山本彩也香	やまもと さやか	小6	東洋珠算学校
	159	立川 侑里	たちかわ ゆうり	小6	東洋珠算学校
	166	大坂 愛	おおさか あい	高2	田野珠算学校
	106	岩下 龍晟	いわした りゅうせい	小6	東洋珠算豊里学院
	161	宮崎 春	みやざき こと	小6	東洋珠算学校
	158	高木 華奈	たかぎ かな	小6	東洋珠算学校

読上暗算

順位	選手番号	選手名	ふりがな	学年	教室名
優勝	158	高木 華奈	たかぎ かな	小6	東洋珠算学校
準優勝	166	大坂 愛	おおさか あい	高2	田野珠算学校
2位	167	山本 明侑	やまもと みう	小6	田野珠算学校
	108	桑田 留奈	くわた るな	小5	東洋珠算豊里学院
	102	長谷川 夏瑚	はせがわ かに	高2	東洋珠算豊里学院
3位	104	植松 颯太	うゑまつ そうた	中1	東洋珠算豊里学院
	110	嶋崎 真央	しまさき まお	高2	長居珠算学校
	127	平瀬 奈緒	ひらせ なお	高1	東洋三国学院
	157	棚原 恋々	たなはら ここ	小6	東洋珠算学校
	164	佐藤 梨帆	さとう りほ	小6	井宮基礎スクール

2015年11月8日(日)開催

**第40回 個人総合競技
全大阪ベスト選抜珠算競技大会**

会場：大阪府支部事務所

順位	選手番号	選手名	ふりがな	学年	教室名	得点
優勝	104	植松 颯太	うゑまつ そうた	中1	東洋珠算豊里学院	770
準優勝	125	田中 美羽	たなか みほ	高3	東洋三国学院	745
第2位	102	長谷川 夏瑚	はせがわ かに	高2	東洋珠算豊里学院	740
	126	鈴木 希和	すずき きわ	高3	東洋三国学院	715
	164	佐藤 梨帆	さとう りほ	小6	井宮基礎スクール	705
	106	岩下 龍晟	いわした りゅうせい	小6	東洋珠算豊里学院	690
	127	平瀬 奈緒	ひらせ なお	高1	東洋三国学院	690
	101	竹内 瑛音	たけうち えいお	大2	東洋珠算豊里学院	685
第3位	103	松田 さくら	まつだ さくら	中2	東洋珠算豊里学院	670
	157	棚原 恋々	たなはら ここ	小6	東洋珠算学校	670
	167	山本 明侑	やまもと みう	小6	田野珠算学校	670
	134	中谷 綾	なかつたに しょう	中1	東洋三国学院	660
	110	嶋崎 真央	しまさき まお	高2	長居珠算学校	655
	158	高木 華奈	たかぎ かな	小6	東洋珠算学校	635
	166	大坂 愛	おおさか あい	高2	田野珠算学校	630
	108	桑田 留奈	くわた るな	小5	東洋珠算豊里学院	615
	129	松本 健司	まつもと けんじ	高1	東洋三国学院	615
	136	松江 有紗	まつえ ありさ	中3	東洋東三国学院	610
	163	杉本 優香	すぎもと ゆうか	中2	井宮基礎スクール	605
	128	榎本 正浩	えのもと まさひろ	高1	東洋三国学院	600
	130	横路 芽依	よろち めい	中3	東洋三国学院	600
	116	友定幸太郎	ともだち こうたろう	中1	長居珠算学校	600
	133	芦谷 海優	あしたに みゆ	中2	東洋三国学院	600
	161	宮崎 春	みやざき こと	小6	東洋珠算学校	600

平成27年度 第5回答案審査会の報告

これまで会報等でご報告して来ました通り、9月施行の珠算・暗算検定の答案審査会が本部にて開催されましたので、その結果についてご報告します。

- ◆日時：平成27年10月14日（水）10:00～12:30 ◆場所：本部事務局
- ◆審査対象検定試験：9月27日施行の珠算・暗算検定試験
- ◆審査員：検定委員（執行部役員）3名（大滝検定委員長、立本総務委員長、古川監事）
- ◆審査対象支部：前回到続き受験者数の多い支部と少ない支部・地域から、合計6支部・地域抽出し、答案を抜き取って検査。
- ◆審査結果：（特記事項など）

- ・1級合格者について、成績一覧表に名前を記載してあるが、答案がなかったケースあり。必ず、成績一覧と答案を一致させて、本部送付の徹底を図る。
- ・コンマ（、）と小数点（.）の区別が出来ない答案あり（○）となっている。「長すぎる、向きがあいまい、位置が下過ぎる」など書き方に問題あり。これまで指摘してきた通り、コンマ・小数点とも、向きや長さ・位置など書き方の基本の指導を徹底して頂きたい。
- ・二審がされていない教場があった。また、不正解の答のみに（×）。すべての答に（○）（×）を付けて採点すること。なお、一審は赤、二審は青ボールペンでの採点で、答にかからない様に（○）（×）を付けることを再度徹底する。二審を黒ボールペンでしてある教場有り。
- ・正解を（×）に、また点数の集計にミスあり。一審、二審ともに正解を（×）に採点している答案も有り。特に、二審は慎重に採点する必要あり。
- ・答の数字が重なって書いてある答案に（○）の採点あり。
- ・段位検定の場合は、特に細心の注意を払って、採点して欲しい。
- ・消しゴム使用の答案を（○）としている教場あり。消しゴム使用不可の徹底。
- ・一部に採点の（○）（×）が数字に掛かっているケース見られるが、概ね一審、二審とも適切に処理されている。また、採点・集計ミスなどは毎回点数があるが、問題なく採点されている印象である。（但し、段位検定等、上位級は一審・二審とも細心の注意を払って採点して頂きたい旨、周知徹底する。）

以上、「第5回検定試験答案審査会」のまとめとして、以下の事柄について会員各位へ答案採点注意事項として、会報などを通じてお知らせとご協力をお願いする。

- ・コンマ（、）、小数点（.）の書き方（大きさ、向き、位置）の基本の指導徹底を。
- ・一審は赤、二審は青ボールペンで、答にかからない様に（○）（×）を付ける。
- ・採点ミス、集計ミスを防ぐため、特に上位検定では一審・二審とも慎重に採点する。
- ・教室ごと台帳（成績一覧・証書授与台帳）と解答を一緒にまとめて本部へ送ること。

第6回「答案審査会」報告書（算数能力検定）

平成27年度第6回目の答案審査会が本部にて、行われましたので、以下ご報告いたします。

- ◆日時：平成27年11月6日（金）10:00～12:30
- ◆場所：本部事務局
- ◆審査対象検定試験：10月18日施行の第63回算数能力検定試験
- ◆審査員：執行部役員3名（大滝検定委員長、立本総務委員長、古川監事）
- ◆審査対象支部：前回到引き続き受験者数の多い支部から3支部、少ない支部から3支部をピックアップして答案審査。
- ◆審査結果：（特記事項など）

- ・各支部とも一審・二審とも、適切に採点されており、概ね良好な印象であった。
 - ・第63回から算数検定の作問担当が教科書会社である啓林館にかわり、文章題について、これまで部分点を認めていたものが、今回、式と答の両方が完答（正解）で得点としているが、従来どおり片方が正解の場合部分点を与えて得点に算入した答案が多くあった。小学校の現場での教え方など検証して、各支部へ注意を促す。
 - ・採点時の（○、×）が答の数字にかかっている答案が見受けられる。
 - ・一審・二審共に不正解を正解にしてある答案があった。
 - ・今回から、答案用紙に通学している小学校名や珠算検定合格級（もしくは段位）を記載する欄を設けたが、未記入の答案が多くあった。次回から必ず記入する様、本部事務局から各支部に周知徹底をお願いする。（今後、算数検定では学年ごと誤答し易い分野・箇所などと共に、珠算の習熟度と算数の理解度の相関性について、データを集め検証するため、記入をお願いするもので、こうした趣旨の周知を徹底する必要がある。）
 - ・受験者リスト（成績表兼証書授与台帳）の可否判定欄に単に合格とだけ記入されている支部あり。必ず、合格級を記入するようお願いする。
- 以上「第6回検定試験答案審査会」のまとめとして、以下の事柄について会員各位へ算数検定答案採点注意事項として会報などを通して通知することとする。

- ・採点時の○×は解答の数字等に重ならない様に注意すること。
- ・一部の文章題について、解答表の配点に注意して、式・答とも完答で・・・点（正解）と記載されている場合、部分点は入れないこと。
- ・成績表兼証書授与台帳（受験者リスト）には、必ず合格級を記入する事。
- ・所定の欄に、氏名のほか通学している小学校名、珠算検定で取得している級・段位を記入する事。

文部科学大臣・副大臣 表敬訪問の報告

平成 27 年 10 月 27 日、全国珠算学校連盟を代表して吉田顧問、山中会長始め、横須賀副会長、林副会長、木谷副会長と常任理事の立木総務委員長、三富財務委員長、大滝検定委員長、山中広報委員長の 9 名と事務局から木股局長が、就任間もない馳浩文部科学大臣及び義家弘文部科学副大臣を訪問し、珠算教育強化の要望書を提出しました。同時に、学校連盟の活動概要を紹介し珠算教育の重要性についても意見交換することが出来ました。その内容について、以下の通り会報を通じて会員各位へご報告いたします。

要 望 書

初等教育における珠算教育強化のお願い

当連盟は、全国組織を持つ 3 団体（公益社団法人全国珠算学校連盟、公益社団法人全国珠算教育連盟及び日本珠算連盟）が構成する「全国珠算教育団体連合会」のメンバーとして、全国的に幅広く珠算教育・技術の振興と発展に努力をいたしております。

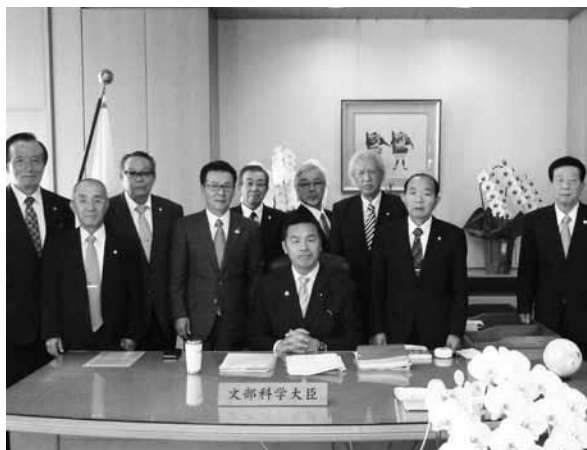
珠算は我が国が世界に誇る伝統的な文化であり、長きに渡り社会生活の基礎となる「読み・書き・そろばん」の一環として「そろばん」技能の習得が奨励されてきました。IT 社会と言われる現在にあっても、多くの児童が珠算技能の習得を目指し、その過程で培われる集中力や忍耐力を身に付け、学校でのあらゆる学習に対する真摯な姿勢と自信を育んでいます。

珠算による計算力の涵養は、児童の基礎学力の向上に不可欠な基本と考え、「全国珠算教育団体連合会」では珠算の指導者を全国の小学校へ派遣し、また珠算学習の補助教材として「たのしいそろばん」を無料で配布しているところです。（平成 26 年度 3,381 校へ派遣、補助教材「たのしいそろばん」380,886 冊、教師用 22,661 冊配布）

教育の見直しが叫ばれている中、珠算は長い歴史と伝統に基づき指導法の改良等も進められ、今なお児童の計算力・計数感覚の涵養に最も適した学習法として見直され、多くの児童が学んでいます。

こうした中、珠算教育の果たす重要な役割について一層のご理解を賜り、現在小学校の 3・4 年生に導入されております珠算学習を 2 年生から 4 年生まで連続して指導がなされるよう、珠算教育の強化を強くお願いする次第です。

以上



馳文部科学大臣と



義家文部科学副大臣に要望書を渡す

《編 集 後 記》

▽新年 あけましておめでとうございます。

2016 年を迎え新たな目標を掲げている先生方もおられるのではないのでしょうか？ 私は常々「過去より未来、そして今を大切に」という言葉を大事にしており、年頭にも誓います。私たちは未来あるお子さま達を預かっております。珠算を通してこの言葉を、愛を持って伝えていくことができればと願っている次第です。

さて、山中会長の念願でありました「新世代の会」の第 1 回会合が開かれました。全国組織の中、旅費等経費もかかり大変でしょうが「新世代の会」は、文字通り若い世代の皆さんのためのものです。IT などを活用して情報交換し、連盟の将来を築いていただきたいと願っております。（広報委員長 山中）

▽新年明けましておめでとうございます。山中会長の指導の下、27 年度の主要行事の他「新世代の会」など新企画の行事も滞りなく施行され、事務局一同ほっと一息で、しばしの休みに入っているところですが、本年も気持ちを新たに、連盟の諸活動の遂行に全力で当たってまいります。会員の先生方の一層のご指導ご協力をお願い致します。新年が会員の皆様にとって実り多い年となりますようお祈りいたします。

（本部事務局 木股）

新人スタッフ紹介

10 月 28 日より吉田節子さんの後任として、主に珠算暗算検定試験関連業務を担当させていただいております、水野住江と申します。明治生まれの祖父が「読み書きそろばん」が大事だと、私に教えてくれました。私もとても大切だと思います。（私はおろそかにしてしまったので、後悔しています）これまで、民間企業で事務職に携わって来て、業界が変わっても、大きな戸惑いはありませんでした。しかし、ここでの業務は全く知らない世界なので、先生方にご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。（本部事務局 水野）

〔遺言愚作川柳〕

東京都支部 教育学博士 小林誠男（92 才）

「人生雑感」

- ▽ 散る桜 そんな覚悟を 思いだす
- ▽ 日本 智恵 大江戸の 六つ玉
- ▽ 負けて良し 戦い消えて 平和来る
- ▽ もう安心 永遠の墓 増上寺（※芝）
- ▽ 旅の蔵 江戸幻想の 七つ珠
- ▽ 卒寿超え 鬼に金棒 博士号
- ▽ 白寿まで 長い老後が 待っている
- ▽ 七十年 平和原流 真珠湾
- ▽ 負け覚悟 悲愴の拉致よ 学徒兵
- ▽ 献血の 実行果たせぬ 老い深し
- ▽ 白寿まで 七年もある 2 人酒
- ▽ 実力が 貫禄すでに 錆ついた
- ▽ 人は死ぬ 夢 希望 だから抱く（だ）

「そろばん談義」

- ▽ 散る桜 そんな覚悟を 思いだす
- ▽ 無用論 算師今すぐ 退めなさい
- ▽ 生徒減 魔法の箒 探してる
- ▽ 電卓が あるから原始 重みあり
- ▽ 原始的 ここぞと思う 長所也
- ▽ 愛犬よ ワンワン新入 呼び入れよ
- ▽ 令状は 死ぬ覚悟 負けて生き
- ▽ 七十年 平和原流 真珠湾
- ▽ 足腰の バネ算歩丹念 補強する
- ▽ 強いから いじめ逢うのさ 気にしない
- ▽ 幸せ 目的今日の 算歩道
- ▽ 算盤は 世界に通ず 算教具
- ▽ 博士号 生きて行きたし それなりに
- ▽ 飽き飽きた 算盤ですが まだ魅力

会 報 第 267 号

発行日 平成 28 年 1 月 1 日

発行所 公益社団法人 全国珠算学校連盟

〒 464-0850 名古屋市千種区今池 3 丁目 1-3

TEL (052) 732-5051

FAX (052) 733-5413

http://shuzan-gakko.com/

E-mail : info@shuzan-gakko.com

発行人 会 長 山 中 幸 二

編集人 広報委員長 山 中 博 詞

